



北海道大学が産業技術総合研究所とクロスアポイントメントを実施

概要

北海道大学では、研究者が組織の壁を越えて活躍し、イノベーション・ナショナルシステムにおける技術の橋渡し機能の強化を目指したクロスアポイントメント制度を新たに整備しました。その第 1 号として平成 27 年 4 月 1 日に独立行政法人産業技術総合研究所とクロスアポイントメント制度に関する協定を締結し、触媒化学研究センターの西田まゆみ教授がクロスアポイントメント適用教員となりました。

クロスアポイントメント制度の実施に至った経緯

北海道大学と産業技術総合研究所との包括連携協定に基づき、本学の触媒化学研究センターは、産業技術総合研究所の触媒化学融合研究センターと協力し、合同シンポジウムの開催、産官学連携触媒研究ユニットの設置と産業技術総合研究所からの客員教授の招聘などの活動を通して研究者の交流を行ってきましたが、大学や研究所の持つ触媒科学技術の実用化を図るためには、より強固な連携をとることが必要になったことから、平成 26 年 12 月 26 日に文部科学省と経済産業省が組織の壁を越える新しい制度であるクロスアポイントメント制度に関する基本的な枠組みを発表 (<http://www.meti.go.jp/press/2014/12/20141226004/20141226004.html>) したことを受け、本学はこの制度により、触媒科学に基づくイノベーション創出事業を加速することを目的に産業技術総合研究所と協定を結び、今回の実施に至りました。

クロスアポイントメントの内容

- ① 両機関の正規職員として所属し、定まったエフォートに応じてそれぞれの機関で活動を行います。
- ② 西田まゆみ教授は北海道大学触媒化学研究センターの教授として「教育研究および実用化基盤技術」の業務を行い、産業技術総合研究所触媒化学融合研究センターのクロスアポイントメントフェローとして「官能基変換技術の産業応用への展開」の業務を行います。
- ③ 具体的な活動は以下のとおりです。
 - a) 官学の研究成果を企業に紹介し、その実用化・商業化を図るため、官学の研究者と企業間のネットワーク構築活動を行います。
 - b) 企業の実用化ニーズを、官学での研究シーズに落とし込み、共同研究に繋げるための情報収集・

研究活動を行います。

c) アカデミックだけでなく、産業界でもリーダーとして活躍する若手人材を育成します。

今後、北海道大学が産業技術総合研究所とともに、触媒研究の世界トップレベル研究拠点としてますます発展することが期待されます。

協定の有効期限

平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学北キャンパス合同事務部 総務担当 千葉

TEL：011-706-9102 FAX：011-706-9110 E-mail：k-shomu@jimu.hokudai.ac.jp